

学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

新型コロナウイルス感染症も一端は落ち着きをみせたものの、また微増する様子もうかがえます。外国からの入国制限は解除されましたが、国(静岡県)の評価レベルは依然として、「警戒を強化すべきレベル」となっています。本校では、油断することなく、市教育委員会、学校医の指導を仰ぎながら、校内でできる限りの感染対策と、豊かな学びの機会の保障に取り組んでまいります。保護者の皆様におかれましては、毎日の健康観察、検温、健康観察アプリでの報告につきまして、引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、本市の小中学校では「**レベル2**」の感染対策を実施していますので、**子供(本人)又は同居家族に発熱や咳、倦怠感等の症状がある場合**(医師により、新型コロナウイルス感染症ではないと判断された場合を除く)は**自宅にて休養し登校をお控えください**。御理解と御協力をお願い申し上げます。

■ 授業と家庭学習をつなぐ(リンク学習)で深い学びを

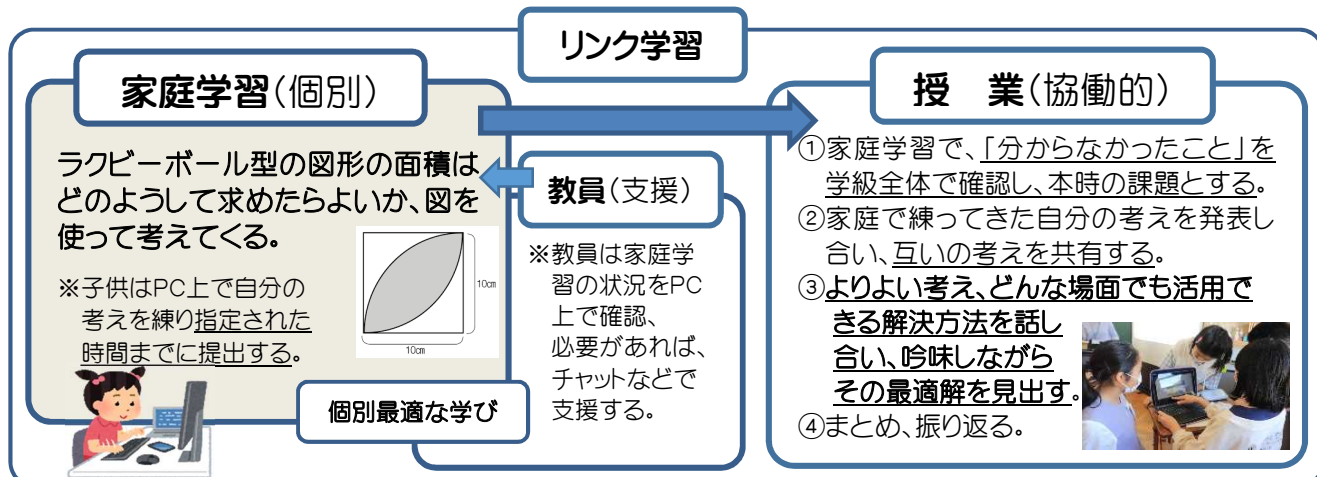
校長 川口 秀也

昨年度から、本校では、一人一台端末(PC)を活用した家庭学習と授業をつなぐ(リンク学習)に取り組んでいます。各御家庭でも子供たちがPCに向かい、担任から送られてくる家庭学習に取り組む姿を見たことがあるのではないのでしょうか。

本校では、これまでの実践研究から、授業が活性化(子供の学びが深まる)する家庭学習を①事前準備・予習型、②復習・発展型、③マイデータ作成型の3つに整理しました。

これら3つの家庭学習を、授業計画に効果的に組み込み、子供一人一人の実態に応じた個別最適な学びと学校での協働的な学びの一体的な充実を目指すと共に、**※1 自律した学習者の育成**に取り組んでいます。

9月27日(火)には6年生の算数で、10月6日(木)には1年生の算数、3年生の国語で、リンク学習の提案授業がなされました。子供たちは事前準備・予習型の家庭学習に取り組んできたことで、課題を自分事として捉え、ワクワクした気持ちで授業に臨む子や「ここまで分かったけど、次のところから分からなくなった、どう考えるのか、早くみんなに相談したい」と発言する子など、学校での対話的な協働学習に積極的に参加する子供たちの姿が多く見られました。また、指導者も「授業を単なる家庭学習の答え合わせに終わらせない、主体的で、対話的で**※2 深い学びを実現する手立て**を準備して授業に臨んでいます。まだまだ、道中半ばではありますが、高学年では約8割強の子供たちがこの「リンク学習」を肯定的に捉え「学ぶことの楽しさ」を実感しています。子供たちと共に、更にこの実践研究を進めて参ります。



※1 課題を自ら見出し、自ら考え、仲間と協働しながら、よりよく課題を解決したり、新たな価値を創造したりできる。また、自らの学習を振り返り、調整しながら粘り強く取り組める子

※2 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学びのこと